

# Q & A 栃木県立宇都宮東高校附属中をより理解いただくために

※ 栃木県立宇都宮東高校の URL 【 <http://www.utsunomiyahigashi-h.ed.jp/> 】

Q1 どのような人が入学することを期待していますか。

- (A) 宇東高附属中は、宇都宮東高等学校へ進学しようとする人を対象とする学校です。6年間の中高一貫教育を通して、自己理解を深め、能力や個性を伸ばし、豊かな人間性や深い教養を身につけられるような教育を行います。毎日の授業、学校行事、部活動などに積極的に取り組もうとする、チャレンジ精神が旺盛な人たちの入学を期待しています。

Q2 出願の手続きはどのように行うのでしょうか。

- (A) 詳しくは、「栃木県立中学校生徒募集要項」をお読みください。

## I 出願書類の配付について

- ①配付時期：平成18年10月2日(月)から配付
- ②直接来校(庁)して請求する場合：下記の土・日及び祝日を除く日の( )の時間帯  
栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校 宇都宮市石井町 3360-1 ( 9:00 ~ 15:30 )  
栃木県教育委員会事務局学校教育課 宇都宮市本町 3-9 栃木県庁南庁舎2号館( 8:30 ~ 17:15 )  
各教育事務所( 8:30 ~ 17:15 )
- ③郵送により請求する場合：140円切手を貼った返信用封筒を同封し郵送  
栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校 〒321-0912 宇都宮市石井町 3360-1

## II 出願について

- ①出願期間及び方法：平成18年12月4日(月)から7日(木)まで 持参または郵送
- ②提出先：栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校  
〒321-0912 宇都宮市石井町 3360-1  
持参する場合 9:00 ~ 15:30  
郵送の場合 速達簡易書留で 平成18年12月7日(木)までの消印有効

Q3 中学校の授業で高等学校の内容を学習しますか。

- (A) 宇東高附属中では、例えば「中高5年間で高校3年までの内容を学んでしまい、残りの1年間を受験勉強に充てる」という、いわゆる「先取り学習」は行わず、確かな学力の育成を目指します。
- 各教科では生徒の課題解決力、思考力・判断力・表現力などを高める発展的な学習を行います。
  - 学校設定科目「リテラシー基礎」では科学リテラシーの基礎を育て、「リテラシー応用」では身につけた科学リテラシーをさらに高める発展的な学習や課題研究を行います。このように、基礎学力をしっかりと身につけ、応用力を高められるような学習を行いますので、発展的な学習の過程で高等学校の学習内容を扱うことがあります。

Q4 生徒がめあてをもって学習に取り組めるような工夫はあるのでしょうか。

- (A) 定期テスト前後の学習相談などを通して、めあてをもって学習に取り組む環境づくりを進めます。
- 毎年2月に、学年末テストを行います。これで、1年間の学習で育成を目指す学力が身についたかどうかを診断します。この学年末テストの実施後、生徒が自らの計画に基づいて家庭学習を進める「チャレンジ月間」を実施します。これによって、生徒の自ら学ぶ力を高めるとともに、個別指導の場を設けます。
- また、各学年で年2回程度、自己の学習状況や今後の努力点がわかる全国規模の学力診断に参加し、将来の進路決定に向けて学習のめあてを明確にする機会を設けます。

Q5 生徒が不安をもったとき、支える体制はあるのでしょうか。

- (A) 県内全域から生徒が集まる学校であることを踏まえて、生徒一人ひとりに目を向けたいきめ細かな教育相談体制をとります。定期的な個人懇談や三者懇談の実施に加え、中高合同の教育相談係の打合せを定期的に関開くなど、生徒を支える環境づくりに取り組みます。スクールカウンセラーを配置し専門家によるカウンセリングを行うことや中高一体となった生徒指導体制や教育相談体制をつくるなど、生徒が安心して6年間の学校生活を送れるような学校づくりに努めます。

Q6 高等学校の1年生時の学級編制はどうなりますか。

- (A) 高等学校段階で55名の生徒が入学します。  
この新しい仲間を迎え、互いの切磋琢磨によって一層の向上を目指すために、附属中学校から進学する生徒と高等学校段階から入学する生徒をほぼ等しい割合で4学級に分け、高校1年生では4学級(各学級40人)の学級編制とします。

Q7 キャリア教育とはどのようなものですか。

- (A) キャリア教育は、働くことの意義を考え、自分にふさわしい進路を決定する力を育てることをねらいとしています。  
附属中では、一般の中学校で行う進路についての授業、中学2年で行われる社会体験学習に加え、次のような点に力を入れます。  
第一に、さまざまな講師を招いた進路学習の場を設けます。社会人として活躍している高校の同窓生の方、大学生など、幅広い分野・年齢層の講師を招いて、生徒が自分の進路を決定する際に必要な情報が手に入るような機会を設けます。また、高校生との交流学习を通して、今すべきことは何かなど、はっきりした目標が立てられるようにします。  
第二に、高校入試のない環境を生かし、計画的な学習を行います。特に、多くの生徒が大学進学を目指すことから、大学で何を学ぶか、自分の適性を生かす学部や学科は何かなどを、さまざまな角度から考える学習を行います。  
第三に、継続的な指導体制をつくります。生徒の進路についての学習のあゆみを整理するとともに、6年間の成長の様子を見守り、必要なときに必要なアドバイスができる体制をつくります。例えば、入学した生徒が卒業するまで続けて指導できる教員を学年に配属するなどの方法を考えています。

Q8 宇都宮東高の生徒は、どのような進路を選択していますか。

- (A) ほぼ全員が4年制大学への進学を希望しています。  
平成18年度の宇都宮東高の卒業生は、93.4%が4年制大学に合格しています。  
また、この卒業生275名のうち、60%をこえる169名が国公立大学に合格しています。  
最近では、いわゆる難関大学への合格者も増えてきています。

過去3年間の主な合格大学と合格者数

国公立大学	H18	H17	H16
北海道大	3	1	1
東北大	9	6	4
筑波大	4	2	4
宇都宮大	38	21	25
東京大	0	1	0
東京工業大	2	2	1
一橋大	1	0	1
名古屋大	1	0	0
京都大	1	1	0
私立大学	H18	H17	H16
慶應義塾大	8	3	3
早稲田大	10	5	4